

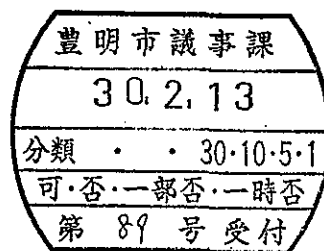
豊明市議会議長 殿

行政等視察報告書

議員名 後 藤 学

平成29年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
平成30年 1月30日	石川県輪島市商工会議所	カートによる公道での自動運転について ※先進的な公共交通システムを、行政ではなく商工会議所が取り組んでいること、民間企業や国の支援をうまく活用していることなどが参考になった。
平成30年 1月31日	岐阜県高山市	議会改革について ※執行部側への政策提言を、市民意見交換会や先進地視察、議員勉強会などを有機的に組み合わせてまとめ上げ、議会の議論を通じて総意として提出していることに議会活動のレベルの高さを感じた。 詳細別紙参照



(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

新風とよあけ会派視察報告書

後藤 学

石川県輪島市商工会議所 (H.30.1.30 視察)

1.市の概要

能登半島の北端に位置し、伝統産業「輪島塗」や朝市、輪島温泉郷などに象徴される観光都市。能越自動車道の七尾までの開通、北陸新幹線の金沢開業により交通アクセスが向上し、交流人口拡大や地域活性化が期待されている。市域 426.32 km²に人口 28,606 人、財政力指数は 0.22、経常収支比率 93.5%である。老年人口比率は 43.04% (豊明市 24.66%) と高齢化が進んでいる。

2.視察テーマ「カートによる公道での自動運転」について

- ・公共交通機関の衰退により、高齢者の生活の足の確保と、点在する観光スポットを回遊する観光の足の整備の必要性から、輪島商工会議所を中心にエコカートで市街地内を循環させる次世代交通手段の導入を推進している。
- ・エコカートは、ヤマハ発動機の電動カートをベースに、公道走行ができるようウィンカーやバックミラーを備え、軽自動車ナンバーを取得。最高速度 19 km/h の低速で、市内 3 コースを 15 分程度で無料巡回している。
- ・現在は手動又は自動運転で調査走行を実施中で、自動運転は路面に埋め込まれた誘導線からの磁力線を感知して走行し、レベル 4 クラスの実験では運転手は乗らず遠隔地から監視・操作している。
- ・利用者は年ごとに増加し、2016 年度は 3,745 名で観光客の利用が約 70% を占め、住民の日常生活の足としてはまだ課題がある。
- ・今後の計画として、シルバー人材を活用した走行コース増設を経て、GPS 機能を使った集中管理による自動運転の導入などにより、市内全域 14 コースでの自動走行とバス・飛行機との連動をめざしている。

3.視察の所感

3 コース平日 4 時間の運行で、1 日の利用者 10 数名はまだまだの実績だが、急速に伸びている。この先進的な事業を、行政ではなく商工会議所が主導していることにまず驚かされた。また、電動カートのメーカーであるヤマハ発動機や、産業技術総合研究所など国の機関のサポートをうまく引き出し、自己負担を数十万円に抑える手腕にも感心させられた。

豊明市でも公共交通システムの見直しが進められているが、自動運転での走行までは考えられていない。今後の課題としてさらに勉強していきたい。

岐阜県高山市 (H.30.1.31 視察)

1.市の概要

合併により市域が拡大された日本一面積の広い市。伝統的建造物群の古い街並みや奥飛騨温泉郷で知られ、年間 450 万人を超える観光客（うち 1 割以上が外国人）が訪れる。平成 28 年には「高山祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録が決定された。市域 2,177.61 km²に人口 90,256 人、財政力指数は 0.52、経常収支比率 77.6%である。

2.視察テーマ「議会改革」について

- ・議会改革への取り組みは早く、第 1 次 (H.8~14) において一般質問の見直し（答弁含め 60 分→質問のみで 40 分）、議員の各種審議会参画廃止、所管事務調査の活用などを決定した。
- ・H.21 年には「議会改革等に関する特別委員会」を設置。高山市議会のあるべき姿と基本理念を定め、合併後の議員定数等の見直し、議会基本条例の制定へと進み、議論する議会、政策提言による議会機能強化をめざすこととした。
- ・第八次総合計画策定にあたっては、基本計画を議決事項としたことをふまえ、各常任委員会ごとに政策課題を設定して調査・研究を行い、健康長寿社会の構築、観光まちづくりへの転換など 10 項目の政策提言を行った。
- ・委員会調査の充実を図るため、委員の任期を 2 年に延長するとともに毎月定例開催とし、「政策課題の把握」→「政策提言」とすることで調査目的の明確化を図っている。また委員会の運営は議員間討議を重視している。
- ・議会の情報公開としては、当市で行っているもののほかに正副議長立候補予定者所信表明会の CATV、インターネットへの配信、傍聴者への資料配布などがある。
- ・市民意見交換会は、小学校区単位の地域別と、各種団体等を対象とした分野別があるが、いずれも政策提言に向けた活動の一環と位置づけ、市民の声を市政に反映させることとしている。また、高校生との市民意見交換会も実施。

3.視察の所感

議会基本条例を「条例ありきではなく、実践を通じて制定した」と言うだけあって、「議論する議会、政策提言による議会機能強化」ができる仕組みづくりがしっかりできていた。特に政策提言については、委員会における政策課題の設定、市民意見交換会、先進地視察、議員研修会、決算・予算審査などが目標をもって系統的に行われた結果によるものだった。しかも、提言は議会全体の合意で行われるという。内容がやや抽象的との難はあるが、執行側への影響は大きいと思う。